普代の植物散歩 ㉚

【写真・文】大森　竹之助さん
（久慈市在住・74歳）

撮影　萩牛 2002年11月16日

カキ（かきのき科）■学名 Dispyros kaki

秋も深くなって少しずつ朝夕の冷え込みは増していく。針葉樹の緑と灰色の枯れ木の中にカキは赤黄色く輝く。普代村のあちこちにカキは植えられているが、おっとりとした温かみのある場所に限られている感じがする。

カキには渋ガキ、甘ガキがあるが、この地方は渋ガキ地帯である。昔は渋ガキから柿渋をとっていたのを思い出す。渋はしもやけに効くので自家用なのか、売ったものかは分からない。カキはカロチンを含み、利尿効果があり、また「カキを食えば酔いが覚める」といい、二日酔いにも効果があるという。

かつて太田名部のOさんが、カキの葉茶を作っていて飲ませてもらったが、これは止血、血圧降下作用があるとのことであった。干し柿の表面の白い粉は柿霜餅（しそうべい）といって咳止めの薬となる。

「木守柿（こもりがき）」というのがある。収穫の最後に一つだけ残しておく風習である。新しい生命への期待、神への供え物、野鳥への思いやりの意味だろう。

図書室漫歩

●開室時間　9：00～17：00
●休 室 日　毎週月曜日
TEL・FAX　36―1044

◇幼児向け

『おまえうまそうだな』

宮西　達也

おなかをすかせた大きな恐竜が、あかちゃん恐竜を見つけて飛びかかろうとすると…。お父さんに間違えられた、大きな恐竜と、あかちゃん恐竜の愛情の物語です。

ポプラ社

◇幼児向け

『りゅうぐうじょうでさがしもの』

桂　文我

船に乗っていたたろうきちは大金の入った財布を海に落としてしまいます。海に潜ったたろうきちは、竜宮城で浦島太郎と間違えられ、すっかりごちそうになりますが…。

童心社

◇小中学生向け

『かいけつゾロリの大どろぼう』

原　ゆたか

ブルルーブル美術館の入場無料券をもらったゾロリたちは、美術館で名画「モニャリザ」を発見。ゾロリは「モニャリザ」を盗み出す計画を立て始めます。

ポプラ社

◇一般向け

『自家製酵母でパンを焼く』

相田　百合子

季節の果物やハーブで野生の酵母を育てて、ゆっくり、ゆったりのパンづくり。四季を問わず楽しめるおいしいパンがいっぱいです。初心者にも分かりやすく説明しています。

農産漁村文化協会